



- 改選後、新たな顔ぶれ P2~3
- 特集 新年度予算決まる P4~8
- 市政のここが聞きたい P10~16
(市政一般質問)



み た べ つねあき
三田部恒明 (63)
公明党 当選5回
西大沼351番地11
電話 574-6273



なかや ひさこ
中矢 寿子 (62)
公明党 当選4回
上野台410番地2
電話 574-1146



つのだ よしのり
角田 義徳 (41)
無所属 当選2回
後榛沢436番地2
電話 585-0722



すずき みつお
鈴木 三男 (69)
日本共産党 当選3回
上野台50番地13
電話 573-7552



ごま こ
五間くみ子 (49)
公明党 当選4回
上野台2352番地
ダイヤパレスBW深谷812号
電話 574-7027



いしかわ かつまさ
石川 克正 (51)
無所属 当選4回
本住町7番54号
電話 571-1341



ミルク おやし
村川 徳浩 (59)
無所属 当選3回
東方2603番地
電話 572-4228



ばば しげる
馬場 茂 (68)
無所属 当選4回
人見841番地2
電話 572-7321



とみた まさる
富田 勝 (67)
無所属 当選5回
武蔵野3400番地
電話 584-1620



たかだ ひろゆき
高田 博之 (74)
無所属 当選6回
上敷免322番地
電話 571-0039



さくま なな
佐久間奈々 (45)
日本共産党 当選2回
武蔵野3995番地7
電話 050-3426-9206



いまい けいいちろう
今井慶一郎 (46)
無所属 当選1回
寿町52番地
電話 080-7308-0104



もてぎ いちろう
茂木 一郎 (68)
無所属 当選2回
岡2635番地1
電話 585-2356



ふくしま ひでき
福島 秀樹 (52)
無所属 当選1回
岡2655番地6
電話 585-4594



なかだ みのる
仲田 稔 (71)
無所属 当選6回
折之口116番地2
電話 572-7237



たぐち ひでお
田口 英夫 (63)
無所属 当選2回
東方町1丁目5番地1
電話 573-4997



しばさき しげお
柴崎 重雄 (68)
無所属 当選5回
上柴町西3丁目21番地3
電話 571-2843



かとう としえ
加藤 利江 (70)
無所属 当選5回
上柴町東3丁目5番地20
電話 574-1717



ゆもと てつあき
湯本 哲昭 (69)
無所属 当選1回
蓮沼856番地1
電話 572-6462



まつもと まさよし
松本 政義 (70)
無所属 当選7回
武蔵野2437番地1
電話 584-1727



ながた かつひこ
永田 勝彦 (75)
無所属 当選4回
長在家198番地
電話 583-2095



たけい しんいち
武井 伸一 (73)
無所属 当選3回
横瀬1322番地10
電話 587-2770



しみず けんいち
清水 健一 (58)
無所属 当選4回
小前田2406番地8
電話 584-0395



こじま たかし
小嶋 隆 (69)
無所属 当選4回
本田1009番地1
電話 578-2277

氏名（50音順・敬称略）、年齢（6月1日現在）、党派、当選回数（旧市町での当選回数を含む）の順に掲載しました。
電話番号（七桁表記）の市外局番はすべて048です。

総合計画から見た主な新年度予算



平成31年深谷市議会第1回定例会
2月22日から3月18日まで

当初予算は、539億570万4千円で、前年度に比べ22億9,485万円(4.4%)の増額となりました。新庁舎整備事業、消防分署耐震化事業、原郷上野台線整備事業などを集中的に実施することが主な理由です。

5つの主要プロジェクトを展開

今年度は、第2次深谷市総合計画の2年度目にあたり、総合計画に掲げる将来都市像「元気と笑顔の生産地ふかや」の実現を一層確かなものとするため、以下の5つのプロジェクトによる各種施策の展開を図ります。



2 シニアが輝くふかやプロジェクト

健康づくり推進事業……………503万5千円

新規 「健康づくり応援店」の認定

高齢者自立支援事業……………1,780万円

拡充 「住民主体の通いの場」立ち上げ・継続支援
「介護予防サポーター(ふっかファイブ)」の養成

防災機能強化事業……………540万6千円

新規 自主防災組織連絡協議会の設置

1 出産・子育て安心ふかやプロジェクト

母子健康包括支援事業……………1億580万7千円

新規 産後ケア事業(アウトリーチ型)

小学校健康・安全教育推進事業…3,052万5千円

新規 子ども110番の車の登録

私立保育施設運営事業…46億8,012万3千円
拡充 第3子以降の保育料無償化を拡充

5 魅力発信!知って見て好きになるふかやプロジェクト

シティセールス推進事業……………2,017万3千円

拡充 メディアプロモーション、移住定住プロモーションの展開

3 花園IC拠点発!元気の産業ふかやプロジェクト

産業価値向上事業……………2億2,972万円

新規 アグリテック集積の推進
新たな企業を誘致するための取り組み
新規 野菜を楽しめるまちづくりの推進
人を呼び込むための取り組み

4 暮らし安心ふかやプロジェクト

協働のまちづくり推進事業……………404万2千円

新規 市民活動の投稿サイト「ふっかつ深活」の構築
ふっかつ深活とは?
誰でも自分の活動や地域の問題を投稿できるホームページ

大きな事業が同時進行 (平成31年度分)

新庁舎整備事業 44億1,659万5千円



新庁舎イメージ図

原郷上野台線整備事業 4億6,243万4千円



原郷上野台線位置

消防分署耐震化事業 11億1,253万1千円



川本分署完成予想図

論語の里施設管理活用事業 8,482万3千円



旧渋沢邸「中の家」



予算特別委員会
委員長 松本政義

議長を除く議員 23 名で審議しました。2 日間の予算
審査で審議項目は 72 項目でした。

都市整備

水道老朽管更新事業

- Q** 19カ所、1万760メートルの工事延長の中で、昨年、実証実験を行ったポリエチレン管の実証力所は。
- A** 平成31年度は19カ所の老朽管更新事業を予定している。その中、配水ポリエチレン管は8カ所で、5,290メートルを予定している。
- Q** 残りが1万1千メートルだが、平成32年度、終了予定か。
- A** 毎年年間約6億円の事業費を投資して工事している。平成31年度は10.7キロメートル予定している。今年度と同様に約12キロメートルほど工事を行った場合、このまま同じ事業費であれば平成32年度の残り約11キロメートルで終了予定である。

河川整備管理事業

- Q** 小山川はつらつプロジェクト関連工事とは。
- A** 小山川の周辺のにぎわい創出を目的としたプロジェクトであり、岡地内の市道に安全看板を兼ねたルート看板5基と路面シール1カ所の設置を計画している。また、高島地区の新上武大橋の下の市道に、車道とウォーク&サイクルロードの区分線411メートルと石塚地区の小山川堤防に車どめを1基、安全標識一式の設置を計画している。

教育

小・中学校給食事業

- Q** 学校栄養士の配置状況は。
- A** 学校給食の充実を目的に県費栄養士12名と市単独臨時栄養士を1校に1名配置している。
- Q** 人材育成はどのようなことをしていくのか。
- A** 衛生管理講習会などの研修会等に参加しており、引き続き参加できる環境を整えていく。

幼稚園給食事業

- Q** 幼稚園の給食を提供するための費用と聞いているが詳細について聞きたい。
- A** 平成32年度から深谷・深谷西・桜ヶ丘・藤沢・上柴西幼稚園において給食を提供できるよう、備品や消耗品、車両を購入するための費用と園舎と小学校の給食場の搬入搬出部分の整備工事と併せて約6,300万円である。
- Q** 給食費はいくらを設定するのか。
- A** 現在提供している花園・幡羅幼稚園の2園では4,100円であるが、幼児教育の無償化等を踏まえ検討中である。



史跡めぐりや小山川周辺のプロムナードとして、小山川堤防天端に歩行者自転車道の小山川ウォーク&サイクルロードを整備する事業。

小山川はつらつプロジェクトとは

「深谷ふっかつ体操」の指導等、住民主体の通いの場を支援するボランティアで、介護予防サポーターを担う。

「通いの場支援 地域住民が主体となって、地域の中で歩いて通えるような場所(自治会館等)で、重りを使った体操(深谷ふっかつ体操)を週1回継続して行うことで、介護予防と地域における見守りや支え合いを図る取組み。

高齢者自立支援事業とは



議長
新井 清

新年度予算については、施政方針に基づいた事業の組み立てになっているかの審査、並びに新規事業の概要説明や、議員間の情報共有が必要なため、予算特別委員会を設置し集中審議を行いました。

福祉

高齢者自立支援事業

- Q** 予算増の主な要因は。
- A** 住民主体の通いの場の力所数を増やすため、委託料が増額となった。
- Q** 業務委託の内容は。
- A** 通いの場を立ち上げる際の、地域の方への周知や3カ月間の試験導入業務やその後半年ごとのフォロー業務と、通いの場を支援いただく介護予防サポーター、通称ふっかつファインの養成である。
- Q** 業務委託先はどこを考えているのか。
- A** 地域との関係性を考慮し、地域包括支援センター受託法人への委託を考えている。
- Q** 通いの場の目標値は。
- A** 現在の15カ所から、平成32年度末には35カ所に増やしていきたい。
- Q** ふっかつファインの養成計画は。
- A** 現在117名おり、2カ年で50名ずつの増、平成32年度末で200名としていきたい。

母子健康包括支援事業

- Q** 産後ケア事業の拡充部分の詳細を。
- A** 医療機関などの空きベットの活用した宿泊型や日帰り型に加え、新たに助産師などが利用者宅を訪問し、個別に心身のケアや育児サポートなどの支援を行うアウトリーチ型を実施する。

予算審議 (特別委員会で集中審議)

総括

- Q** 平成31、32年度と市債の割合が高くなっている。大部分を合併特例債が占めているが7割は地方交付税として返ってくるのか。
- A** 市債は、公共施設等の整備に必要な資金を借り入れて調達し、財政負担を後年度に平準化するとともに、世代間での負担の公平性を図るものである。合併特例債は、後年度に発生する元利償還金の70%が基準財政需要額に算入され、充当率、交付税算入率とも他の地方債に比べ高めに設定されている。財政運営上有利な地方債である。
- Q** 合併特例債の残額は、あとどれくらいなのか。
- A** 平成31年度末で残額は30億9,150万円となる見込みである。
- Q** 合併特例債が使えなくなった後の財政運営の見通しはどうか。
- A** 今後についても、市債の活用にあたっては、後年度への影響や財政状況を踏まえ、交付税参入率の高い地方債を選択するなど、効果的な財源対策に努めていく。
- Q** 教育費の歳出が、昨年比で約10億円の減額になっているがその理由は。
- A** 岡部公民館建設工事や旧レンガ製造施設に係る保存修繕工事の進捗、岡部学校給食センターの解体工事の完了等、主に建設工事に起因するもので減額となっている。これらの臨時的な財政需要による影響を除いた児童生徒の教育に要する経費については、必要額を計上している。

民生費10年間の伸び



障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉、母子福祉、生活保護などの事業に要する経費です。国民健康保険・後期高齢者医療の特別会計、介護保険の事務を運営している大里広域市町村圏組合への負担金支出も含まれます。社会保障費の伸びを表し、年々増額傾向にあります。

民生費とは

5月臨時会

臨時会で新たな体制整う

市議会議員一般選挙後初めての臨時会が5月20日に開催されました。

臨時会では、正副議長選挙が行われ、議長に清水健一 議員が、副議長に角田義徳 議員が選出されました。その後、各常任委員会委員や一部事務組合議会議員等を選出し、市民の負託を受けた4年間の議会活動がスタートしました。

また、市長から提出された専決処分2件が審議されました。

●5月臨時会 議案等の審査結果一覧表

◆専決処分の承認◆・・・報告承認

報告1 専決処分の承認を求めることについて

(深谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例)

報告2 専決処分の承認を求めることについて

(深谷市税条例等の一部を改正する条例)



副議長
角田 義徳



議長
清水 健一

議長・副議長 就任あいさつ

市民の皆様には、平素より深谷市議会に對しまして、ご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。
このたび、令和元年深谷市議会第1回臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長・副議長の要職に就任いたしました。大変光栄に存じますとともに、その責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。

さて、新たな元号の発表に続き、間を置かず、新一万円札の肖像に郷土の偉人である渋沢栄一翁が採用されたことは、幸甚の至りでございます。このことは、これから深谷市が、輝かしい未来へと発展するという高揚感に満ちております。
ところで、地方を取り巻く環境は、人口減少や高齢化の進展、自然災害の発生など、課題が山積しております。深谷市議会といたしましては、市民の代表として議会の果たすべき役割を十分認識し、深谷市の将来都市像である「元氣と笑顔の生産地 ふかや」の実現に向け、誠心誠意取り組み所存でございます。
市民の皆様におかれましては、引き続き市議会に對する格別のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

◎◎ 今湯茂 井本木 慶哲一 一郎昭郎

◎◎ 高石馬 田川場 博克 之正 健恒 一明 徳浩 秀樹 重雄

◎◎ 今小鈴 井嶋木 慶三 一郎隆 男茂

◎◎ 永加中 田佐 田藤矢 勝利 彦江 勝利 彦江 寿英 子夫 々々

◎◎ 仲松五角 田本間 田田木 田嶋井 政く義 三伸 稔義子 徳勝男 隆一

◎◎ 今湯茂 井本木 慶哲一 一郎昭郎

◎◎ 高石馬 田川場 博克 之正 健恒 一明 徳浩 秀樹 重雄

◎◎ 今小鈴 井嶋木 慶三 一郎隆 男茂

◎◎ 永加中 田佐 田藤矢 勝利 彦江 勝利 彦江 寿英 子夫 々々

◎◎ 仲松五角 田本間 田田木 田嶋井 政く義 三伸 稔義子 徳勝男 隆一

一部事務組合議会議員

大里広域市町村圏組合議会議員

松本 政義 高田 博之 柴崎重雄 田口英夫 中井寿一 武井伸子

埼玉県都市競艇組合議会議員

清水健一

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長

●防災

消防通信指令事業

- Q 三者間多言語通訳システムを導入するとあるが、どのようなシステムなのか。
- A 外国人が言語に支障なく、消防、救急のサービスを受けられるシステムである。119番通報の対応など、電話通訳センター、通報者、指令課の三者間の同時通訳により、24時間体制で迅速な対応ができる。

応急手当普及啓発事業

- Q 救命講習会などで使用する備品や消耗品の購入予算が昨年より減少しているが。
- A 平成30年度予算は、AED協力事業所制度創設の関係で、平成31年度に比べ50万円ほど高くなっているが、過去から110万円前後の予算で推移している。

●産業

産業拠点推進事業

- Q 秩父鉄道本線の踏切拡幅に伴う負担金の額とその内容は。
- A 負担金の額は8,000万円で、遮断機の位置の変更、軌道の調整、線路内の電気設備等の移設費用である。
- Q 農振除外に関する異議の申し出が決着して平成31年度は工事が始まると考えていいのか。
- A 県知事あてに審査請求されていたものは棄却となり、1月末現在で農振除外の手続きは終了している。平成31年度は、踏切の拡幅工事や生活道路の改良、深谷テラス内の公園の詳細設計等に入る。着実に前進させていきたい。

3月定例会 議案に対する各議員の賛否（一部掲載）

議案	会派名(※)																審議結果										
	深谷同志会				深政クラブ				深和会		公明党		共産党		彩新												
議員名	角田義徳	茂木一郎	富田勝	武井伸一	田口英夫	清水健一	柴崎重雄	馬場茂	為谷剛	石川克正	吉田幸太郎	倉上由朗	松本政義	高田博之	新井清	仲田稔	五間くみ子	三田部恒明	中矢寿子	清水修	佐久間奈々	鈴木三男	村川徳浩	田島信吉			
財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
火災予防条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
小・中学校、幼稚園の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
財産の無償譲渡（旧中瀬小学校体育館敷地）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
平成30年度																	議長										
一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国済寺土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
岡中央土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
平成31年度																	議長										
一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国済寺土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
岡中央土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
放課後児童クラブの職員配置基準等の堅持及び放課後児童支援員等の処遇改善を求める意見書を国に提出することを求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	不採択	

※会派名は、共産党は日本共産党、彩新は彩新クラブです。 ※議長は可否同数のみ採決に参加します。 ※○は賛成、×は反対です。



市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

質問項目一覧 (通告順)

スマートフォンなどをお持ちの方は、氏名下のQRコードを専用アプリで読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。

- | | | |
|--|--|--|
| <p>○富田 勝</p> <ul style="list-style-type: none"> ①県道について ②深谷市のスポーツ施設について <p>○清水 健一</p> <ul style="list-style-type: none"> ①次代を担う人づくりについて ②地域経済の活性化について ③消費税率引上げに伴う影響について <p>○五間 くみ子</p> <ul style="list-style-type: none"> ①成年後見制度について ②地域新電力について <p>○鈴木 三男</p> <ul style="list-style-type: none"> ①くるリンの再編計画について ②デマンドタクシーについて ③北通り線について | <p>○村川 徳浩</p> <ul style="list-style-type: none"> ①旧中瀬小学校体育館敷地の売却について ②深谷ねぎのPRについて <p>○田島 信吉</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新川本公民館敷地について <p>○清水 修</p> <ul style="list-style-type: none"> ①国民健康保険税について <p>○三田部 恒明</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地方創生総合戦略 ②森林環境税 | <p>○中矢 寿子</p> <ul style="list-style-type: none"> ①風疹予防接種の体制整備について ②コミュニティーバス「くるリン」の再編計画について ③業務委託者への監督責任について <p>○為谷 剛</p> <ul style="list-style-type: none"> ①介護予防事業について <p>○角田 義徳</p> <ul style="list-style-type: none"> ①快適な生活環境の創造について <p>○佐久間 奈々</p> <ul style="list-style-type: none"> ①深谷市の情報の公開の姿勢について ②動物の殺処分ゼロへの取り組みについて |
|--|--|--|

「市政のここが聞きたい」の記事は質問者本人が執筆したものを編集し、掲載しております。

Q 人工芝のサッカー場の要望があるが

A 陸上競技場の大規模改修の際、検討する

富田 勝

望っています。

—深谷市のスポーツ施設に—

深谷市民体育館の今後はどうなるのか。

2020年度をめぐりにすべての貸出し利用を停止する予定である。

人工芝のサッカー場の要望があるがどのように考えるか。

スポーツ少年団等、幾つかの団体から要望があるため、大規模改修の際は検討材料として考えている。



Q 小中学校の「いじめ」認知件数は、何件か

A 小学校で70件、中学校で70件、合計140件である

清水 健一

スマホはこちらから



のを重く受け止め、「いじめ防止対策推進法改定案」が提出され可決される見込みだが対応について伺う。

A 国会の審議状況を注視し、「いじめ防止」に努めていく。

—消費税率引上げに伴う影響は—

Q 引上げに伴い幼児教育無償化や年金生活者支援給付金事業が予定されているが対応について聞きたい。

A 国会審議中であり詳細が未決定だが支障が出ないよう努めていく。



深谷市教育委員会

Q 「いじめ」により不登校になるなど、因果関係について聞きたい。

A 「いじめ」を受け、不登校になることは十分にある。

Q 「いじめ」は、法律により重大事態と認められる場合は、調査をする定められているが、今まで、重大事態はあったのか聞きたい。

A 重大事態の定義は、児童生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがある時、「いじめ」により相当の期間学校を欠席している時となっており、今までは無かった。

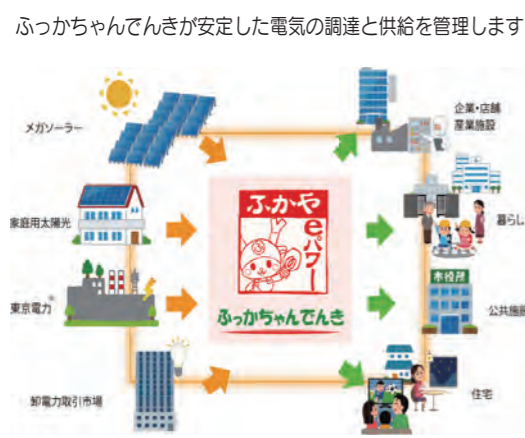
Q 法律では、被害者及び保護者から重大事態の申立てで、重大事案とし調査をする決まりだがいかがか。

A そのとおりなので付け加える。

Q 今国会で、「いじめ」による自殺者、不登校児童生徒が増えている

—地域新電力会社の事業実績は—

Q 通称「ぶっかちゃんでんき」が平成30年4月に設立されたが、事業



計画どおりに進んでいるのか。

A 事業スケジュールにのっとり業務を遂行し、昨年10月に公共施設、その後民間事業者への電力供給を前倒しで開始しており、赤字幅減とのことである。

Q 利益を財源としたサービスの提供について、進捗は。

A 個人家庭への電力供給開始に向け、「ぶっかちゃんでんき」ならではの付加価値やサービスの提供を検討中と伺っている。

五間 くみ子

スマホはこちらから



「くるりん」の再編で利用しやすくなるのか

A 利用者が集中する目的地に運行ルートを集約した

Q 深谷市コミュニティバス「くるりん」の利用状況はどうか。
A 「くるりん」は定時定路線バスとデマンドバスの2種類あり、市内全域で「くるりん」に乗降できる。10万人の利用見込みを上回る利用実績である。

Q 「コミュニティバス」の再編で利用しやすくなるのか。
A 現運行を約4年間運行しているが、好評な路線とそうでない路線が生じている。再編計画は、一部の路線で車両の大型化を図り、利用者が集中する目的地に運行ルートを集約した。経費を抑えてバス運行が持続できるように再編する。

Q 「デマンドタクシー」の導入を。
A バス停までの歩行が困難な高齢者が増加しているが、自宅から目的地まで移動できるデマンドタクシーも導入すべきではないか。
A 市は、合併で拠点が分散し面積も広いので、定時定路線バスとデマンドバスを運行している。現段階で



熊谷市との境界にある北通り線の交差点

Q 北通り線の熊谷市との境界の交差点に信号機と横断歩道の整備を。
A 信号機と横断歩道の設置は、警察の判断によるが、信号機設置条件を満たしていないので、難しい。

―早急に信号機や横断歩道の整備を―

の市民ニーズを集約して作成した再編計画によりバスを運行する。今後市民の需要の変化が確認された時点で適宜リニューアルを検討する。

鈴木 三男

スマホはこちらから



旧中瀬小学校体育館のマイナス入札は適正だったのか

A 全く問題ないときえる

Q 市は最低落札価格1782万1千円に設定し行った2回の入札が不調に終わった事を理由に、体育館を取り壊し、住宅を建てることを条件に、マイナス価格の入札を行った。最低落札価格を引き下げた通常の入札を行う考えは無かったのか。
A 2回の入札不調で活用型の入札はないと判断した。

Q 広報ふかやに掲載された、売却後に想定される税収見込み1730万円は、深谷市民が住宅を建築しても市民税の増収が見込めないため、あり得ない数字だ。不適切な表記を行政が行うべきではないと思うが。
A 税収増がどの位あるかマスコミから求められたため、あくまで一つの例として試算したものである。

Q 川本総合支所の敷地については安全性を理由に公民館の建設は違う場所にすべきとしている。ハザードマップで同じ基準の旧中瀬小学校体育館敷地については住宅建設を条件にしている。矛盾はないか。



旧中瀬小学校体育館

Q 深谷市は深谷ねぎまつりをどのように評価しているのか。
A ねぎのブランド価値の向上や観光に大きく貢献をしていると考える。
Q 市は今後、何らかの形で連携や支援をする考えはあるのか。
A 実行委員会から要請があれば話を聞く用意はある。

―深谷ねぎまつりに対する評価は―

村川 徳浩

スマホはこちらから



公民館建設防災調査報告会の意見の内容を

A 総合支所や公民館など多様な意見があった

Q 市は新たな場所については、防災調査の結果報告会を開き、意見を聞き参考にしながら進めるとしているが、既に検討しているが、意見の内容と、どんな意見を参考に検討を始めたのか。
A 意見の内容は、総合支所敷地が良い。公民館敷地が良い。第3の場所は時間がかかる。国道より高い所が良い、ほかの所など多様な意見があった。市独自に検討している。

―地域一体や安全な場所の定義―

Q 地域がまとまれる状態や安全は降雨浸水だけではないが、市はどんな状態を想定しているのか。
A 地域がまとまれる安全・安心な場所が良い。

―新建設地では巨額な財政支出が―

Q 新たな場所に建設するには時間と巨額な財政支出が必要だが、現時点での考えを聞きたい。



川本総合支所

Q 多額なお金は必要だが、安全な場所に地域のシンボリックなものとしての建設となる。
A 河川浸食に伴う避難訓練は行っていない。河川浸食区域指定は、水防法改正に伴うソフト対策であり避難対策等が中心だが、対応はしている。

―河川浸食区域内の川本中学校の認識―

Q 川本中学校敷地のほぼ全域が河川浸食家屋流失区域内となった。避難訓練の状況や、建物被害等に対する対応を聞きたい。
A 河川浸食に伴う避難訓練は行っていない。河川浸食区域指定は、水防法改正に伴うソフト対策であり避難対策等が中心だが、対応はしている。

田島 信吉

スマホはこちらから



国民健康保険税の引き下げができないか

A 厳しい財政状況に陥っており、引き下げは難しい

Q 国民健康保険は、低所得者が多く加入する医療保障制度である。しかし、高すぎる国民健康保険税のため、滞納世帯が加入世帯の15%を占めるなど、構造的な危機に直面している。高すぎる国民健康保険税の問題の解決は、住民の健康と暮らしを守る上でも、国民皆保険制度の重要な柱である国民健康保険制度の持続性を確保する上でも、社会の公平・公正という面からも、避けて通れない課題となっている。国民健康保険税の引き下げができないか。

A 国民健康保険制度については、ほかの医療保険に比べ、高齢者や低所得者の加入割合が高い傾向にあり、財政基盤が脆弱であるという構造的な問題を抱えている。市では、国民健康保険税のほかに、財源の一部を一般会計から国民健康保険特別会計に繰り入れている。平成30年度に制度改正が行われ、県と市がそれぞれ役割分担をしながら、共同で国民健康保険事業を運営していくことになった。市としては、県とともに共同

清水 修

スマホはこちらから



保険者として、事業の安定的な運営に努めなければならないことから、国民健康保険税を引き下げるとは難しい。



Q

三世代同居・近居支援事業における対象拡大について

A アンケート調査等を参考に検討する

三田部 恒明

スマホはこちらから



Q 地方創生総合戦略でスタートさせた三世代同居・近居支援事業についての実績値と評価を伺う。

A 平成28年からの3力年の数値は、助成件数101件、転入者数は207人。保育園等の送迎、預かりや見守りなど親からの支援を受けられ一定の効果があつた。

Q 小学生以下の子どもがいる世帯を対象としているが、義務教育終了前まで拡大できないか。

A 総合計画にて出産・子育て安心ふかやプロジェクトの取組として拡充と掲げている。現在実施しているアンケート調査等を参考に支援策を総合的に検討していく。

―森林環境譲与税について―

Q 本年度スタートする森林環境譲与税の見込み額と交付時期は。

A 譲与見込み額は約570万円の試算。交付時期は9月と3月の2回に分けて交付される予定である。

Q 現在までの活用方途への研究・取組状況はどうか。



Q 事業予算化については、単年度ごとの施策を検討する場合と基金を設け一定額積み立てた上で事業を予算化する選択肢があるが。

A 施策等を十分に検討する時間を確保するため、基金を創設し積み立てた上で事業予算化していく。

Q

風疹予防接種受診率向上に向けた体制整備対応を問う

A 特定健診等活用した抗体検査実施に向け調整中である

中矢 寿子

スマホはこちらから



Q 抗体検査と予防接種無料の対象者は、39歳から56歳の男性。夜間・土日対応や職場での対応など体制整備の後押しが重要と言われる。市としての対策は考えているのか。

A 平成31年度実施の特定健診等を活用した抗体検査の実施に向けて、健診機関等との調整を行っている。併せてクーポン券を個別送付するほか、広報やホームページ、メール配信等により周知を図っていく。

Q 予算措置は大丈夫か。

A 国の動向を見据えて、平成31年度の当初予算に計上している。

―深谷市コミュニティバス

「ワンマン」再編計画を問う―

Q デマンド方式を導入して4年。見えた課題と改善点は。

A 当初乗合移動を想定したが、同一方向の移動がない状況。説明会や問い合わせの際、乗合い利用促進をお願いし、乗合率向上を目指す。

Q 高齢化社会への対策として、ドアツードアも視野に入れた公共交通



深谷市コミュニティバス「くるりん」

―業務委託について―

Q 業務委託内容に変更があつた場合の指示はどのように行うのか。

A 業者と市が協議をして業務内容の変更を行う。

Q

フレイル予防活動に取り組む健康長寿のまちづくりを

A わびに多くの地域に広がっていくよう支援を進める

為谷 剛

スマホはこちらから



Q 東京大学と協力協定を締結し、「フレイルサポーター・トレーナーシステム」を活用したフレイル予防活動に取り組んではどうか。

A フレイルの予防・進行を防ぐ方法としては、多くの研究がなされ、各地で様々な取り組みが行われており、東京大学の提唱する手法も、その一つであると認識している。フレイルの予防・進行を防ぐための共通の「鍵」となるのは、どの知見においても、「運動」「栄養」「社会参加」の3つの側面を一体として強化していくことが重要であり、中でも「社会とのつながりを持つこと」が、フレイルの最初の入り口と言われていることから、「社会参加」が何より重要なものと認識している。

このような中、深谷市では平成28年度から、埼玉県が推奨している「住民主体の通いの場」を推進することで、フレイル予防に取り組んでいる。「通いの場」では、「深谷ふっかつ体操」を行うことで運動面で筋力・体力の維持・向上を図るだけでなく、



深谷ふっかつ体操

栄養面での支援として「低栄養改善に関する栄養教室」や、「歯・口腔に関する教室」など、栄養や口腔の面など多側面から介護予防支援を行っている。今後も、東京大学の知見なども参考とし、内容・効果の検証方法等についても研究を重ねながら市民が主体的に地域ぐるみでフレイル予防、介護予防、健康長寿のまちづくりに取り組む「通いの場」が多くの地域に広がっていくよう、支援を進めていく。

Q

小島市長に砂ぼこり対策に取り組む覚悟を伺いたい

A 時間はかかるかもしれないが決してあきらめない

角田 義徳

スマホはこちらから



しかない。切り口を変えて、環境を管轄する部署の見解を伺いたい。

A 環境課では市民の様々な身近な相談を受けている。例えば悪臭や騒音などがあるが、その際には発生源となる原因者を特定して、環境基準を超えている場合には改善指導を行っている。砂ぼこりの場合には原因者を特定するのが難しいのと、環境基準が無いため、改善指導することができない。よって、現状では環境面からの対策を行うことは難しい。



南岡地域に設置の防風ネット

Q 過去に行った座談会、意見交換会で集めた意見は産業振興部だけでなく他の部署とも共有しているのか。

A 砂ぼこり対策協議会には環境水道部等も入っており、共有している。

Q 近年の深谷市議会会議録を読み返すと、農業を管轄する部署の答弁

Q

部署によって同じ文書の公開非公開が異なるのか

A

他部署に情報公開請求したことは把握していない

佐久間 奈々
スマホはこちらから



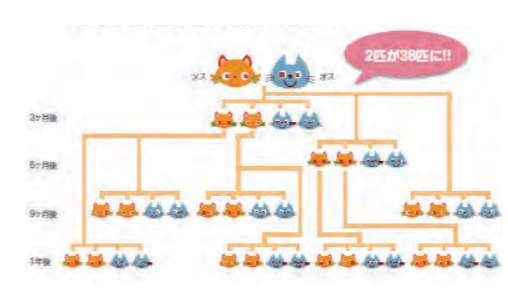
情報公開制度は原則公開であり、例外が非公開という枠組みであるが、今回情報公開請求した花園IC拠点プロジェクトに関する文書が非公開となった。深谷市の公開性に疑義がある。非公開と判断した根拠を伺う。

当該文書は、本プロジェクトの最適地を調査検討したものであり、公開により将来同種の事業の実施に多大な支障をきたすと判断した。

今回、産業拠点整備室と農業振興課に情報公開請求をし、当該文書が、産業拠点整備室は非公開とされ、農業振興課は公開となった。同じ文書が部署によって公開、非公開と異なるのか。考えを伺う。

地域猫活動の啓発の取り組みは、野良猫の繁殖を抑えることが有効である

猫は1年に2~3回妊娠し、1回に4~8匹出産します。例えば年3回の出産で4匹ずつ産み、半数がメスだとすると1年後には...



埼玉県地域猫活動実践ガイドブックより

市民から相談があった場合には、地域猫活動の啓発を行えないか伺う。

議員全員協議会

市から議会へ次のような報告がありました。

「深谷市配偶者暴力相談支援センター」の設置について



設置の目的

DV被害者に対して、相談から自立支援、法的関与など、総合的な支援を行うため、協働推進部人権政策課のDV相談窓口を「配偶者暴力相談支援センター」として整備しました。

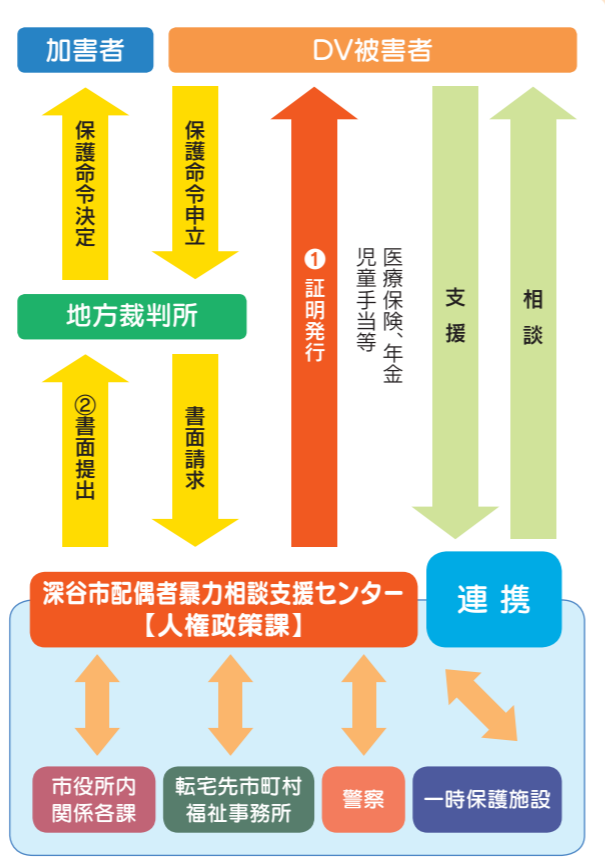
業務内容

- 相談業務の実施
一時保護の同行支援
市役所内各種手続きに関する支援
被害者の自立に関する支援
証明書の発行業務
関係機関との連携(警察、転宅先市町村、裁判所など)

開設による効果

- 法に基づいたDV関連証明書発行や保護命令への関与の業務を自ら行えるようになり、被害者支援を迅速かつ確に行うことができます。
身近な場所での継続的な相談、同行支援、手続きの一元化など、DV被害者の立場に立ったワンストップ支援を行うことができます。

センター設置後のDV被害者支援のイメージ図



議会のうごき

Table with 3 columns for months (1月, 2月, 3月) and rows for events (行事内容). Includes dates and descriptions of council activities.

請願の審査結果

請願第22号(不採択)
放課後児童クラブの職員配置基準等の堅持及び放課後児童支援員等の処遇改善を求める意見書を国に提出することを求める請願
深谷市学童保育連絡協議会 会長 古内 真希子

賛成討論

職員の確保が難しいとの理由で基準が緩和され、職員が一人で多くの児童を受け持つことは、安全性の低下が心配される。今やるべきことは、処遇改善対策の推進により職員の確保に努めることである。この請願に賛成である。 鈴木 三男

人事案件

- 深谷市行政監察員 吉田 俊輔
深谷市固定資産評価員 島崎 賢二
深谷市固定資産評価審査委員会委員 江角 勇二
深谷市教育委員会委員 鷗 美季

ふかや市議会だよりは、点字版とCD版を発行しています。送付を希望される方は市社会福祉協議会(TF573-6500)へご連絡ください。



学校応援団の取り組み

「学校応援団」とは、保護者や地域住民がボランティアとして学習活動や環境整備など、協力・支援を行う活動組織です。



未来を担う子供たちを
地域総がかりで育む
明戸小学校

華道体験



明戸学校支援地域本部が支援組織の名称です。文部科学省が推進している事業名からきています。伝統文化(茶道、華道、水墨画)体験、武道(柔道、剣道)体験は、日本の文化を学ぶ機会となつていきます。地域で継承している新井橋獅子太鼓は、クラブ活動を組織し、運動会で練習の成果を発表しています。その他、読み聞かせ、昔遊び、ミニン等

新井橋獅子太鼓



の学習支援、学校ファームを活用した農業体験、花壇整備や除草の環境整備等で協力をいただいています。また、登校時、通学班に寄り添って歩いていただく、昨年度からの取組「朝の学校さんぽ」でもご協力いただいています。朝から学校がにぎわいをみせています。

6月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
	3	4	5	6	7	8
	(開会) 議案説明	議案説明		議案質疑	議案質疑	
9	10	11	12	13	14	15
	福祉文教 委員会	産業建設 委員会	総務 委員会			
16	17	18	19	20	21	
	一般質問	一般質問	一般質問		採決 (閉会)	

ふかや発見



今号の表紙は

深谷グリーンパーク

埼玉県は全国1位の「ゆり」出荷量をほこり、そのなかでも深谷市は、ゆりの一大産地です。夏の風物詩と言えるゆりは例年7月中旬から下旬にかけて見ごろとなります。

編集後記



元号が令和となり、5年後に発行される予定の新一万円札の肖像に深谷市出身の渋沢栄一翁が選ばれ、また、深谷市議会議員24人の顔ぶれも決まり議会構成も一新されました。

議会だよりを通して議会への関心を深められたのか。また読んでもらえるような記事を提供できたのか不安が残りますが、市民に開かれた議会を目指し、より一層の努力をまいります。

富田 勝

編集委員会

〔編集責任者〕 議長 清水 健一

〔委員長〕 茂木 一郎 〔副委員長〕 鈴木 三男

〔委員〕 小嶋 隆 福島 秀樹 湯本 哲昭
柴崎 重雄 馬場 茂 武井 伸一

議会の生中継・録画配信
<http://fukaya.gijiroku.com>

